

海外活動報告

(台湾)

●訪問地

台湾(基隆市、台北市、桃園市、新北市)

●訪問日程

一回目 自 2019 年 12 月 2 日(月)
至 2019 年 12 月 5 日(木)

二回目 自 2020 年 1 月 6 日(月)
至 2020 年 1 月 9 日(木)

三回目 自 2020 年 2 月 25 日(水)
至 2020 年 2 月 28 日(金)

※新型肺炎の影響により延期

2019年度の台湾訪問のテーマは

- 1) 2018年度の活動にて提携の実現した大学への香川インターンシップの受入れ企業の紹介と短期を含めた留学のプレゼンテーション
- 2) 上記プレゼンテーションをベースに学生に対し、校内でのインターンシップ説明会、留学説明会の開催依頼
- 3) 職業高校を中心とした高等学校との連携提案および香川への留学説明会の開催要請

訪問者:

香川県専修学校各種学校連合会会長/穴吹カレッジグループ専務理事 大平康喜

香川県専修学校各種学校連合会/事務局長 亀本浩史

穴吹工科カレッジ 留学生支援センター 主任/四宮 佳保里

1 中国科技大学(台北市)

訪問日:2019年12月3日、2020年1月8日

面談者:面談者:副校長 廖憲文氏、研究発展所就服組 組長(キャリアセンター)黄永輝氏、流通学科担当 鄭世雄(通訳)、研究発展所就服組 研發長 林淑美氏、助理教授 陳玉燕氏ほか

概要:

香川県のインターンシップ受入れ可能な企業8社の条件面についてプレゼンテーション。日本就職希望者多数。日本への(特に香川県)へのインターン学生をもっと送りたい。※インターンは「特定活動ビザ」を使っている。

観光関係の企業だけでなく、物流・流通の企業へのインターンシップを希望あり。鄭先生の流通学部の学生10数名、観光学部の学生10数名が日本でのインターンシップに関し、興味を示して居る。

次回1月にインターンシップの諸条件を再度提示し、学内キャリアイベント、外国語学科と流通学科の学生対象の説明会イベントについて打ち合わせ。

2月26日(台北キャンパス)での校内説明会を予定、また3月24日(台北キャンパス)同26日(桃園キャンパス)でのインターンシップ博覧会へ香川県専各としてブース出展も予定。※2月3月の予定は新型コロナウイルスの影響で延期

2. 銘傳大学(台北市)

訪問日:2019年12月3日【中山キャンパス】12月4日【桃園キャンパス】

2020年1月8日【台北キャンパス】

面談者：国際教育交流処(キャリアプランニングセンター)所長 王智立、国際教育交流所 所長 劉 廣幸、副処長 劉仁卿 氏、桃園デザインキャンパス副学院長 李芝倫氏、応用日本語学科主任 林長河氏ほか王先生

概要：

今年度が海外インターンシップの第1期生10名弱が実施(3月～7月)※最長5ヶ月の縛りあり

ほとんどが宿泊業の実績 2期生は10名と少しが来年のインターンシップ確定
香川で実施の場合は最短で再来年の3月～7月インターンシップ説明会で企業情報(条件などを提示する必要がある)

1期生はほとんどが東京でのインターンシップであったが、2期生は沖縄、福岡、北海道での実施予定。航空関係もあり、インターンシップの選択肢が広がるのは喜ばしい。
2021年のインターンシップ開始を目指し、香川県専各が窓口となり、連携を進める。
桃園校舎の見学、デザイン校舎、観光学部、調理・製菓分野の短大部は香川の学校との積極的な交流も可能性がある。

3. 経国管理及健康学院(基隆市)・・・高松市交流都市

訪問日：2019年12月3日

面談者：研究発展処処長 劉怡昕氏、国際合作及兩岸交流組 組長 陳秋雄氏、
食旅管理系助教授 劉東春他

概要：

香川県のインターンシップ受入れ可能な企業8社の条件面についてプレゼンテーション。日本就職希望者多数いるが、インターンシップの単位認定については日本の在留資格の確認が必要。特に調理分野での希望がある。
調理系の学校との交流と短期留学の提案。

4. 新北市私立莊敬高級職業学校(新北市)

訪問日：2019年12月5日

面談者：理事長 王傳亮氏、

グループで6000名が学ぶ高校グループの一つ台南に大学も持つ。
莊敬高は12の学科を持つ職業学校、美容・飲食をはじめ、音楽・芸能、農業・園芸まで幅広く教育を行っている。東南アジアの華僑の子供たちを台湾に呼び寄せ日本同

様に労働者不足の台湾に寄与しようとしている。(台湾政府が支援)
台湾の高校には珍しくスポーツにも力を入れており、野球が有名。
校内での説明会を依頼。

5. 松山商業家事職業学校 (台北市)

訪問日:2020年1月7日

面談者:校長 張 瑞賓、学務主任 柳 景沅、秘書 巫 嘉倫
広告設計科、国際貿易科、会計事務科、商業経営科、資料処理科、室内設計科、応用英語科の7学科を有する。学生数1学年600名、約1800名の在籍者数がある。
選択科目として30人程度が週1回、希望者が日本語の授業を受けている。
大学進学率は90%で10%が就職など。科技系大学などへの進学率が高い。就職も政府が若者への給与の一部補助を行っているため多くが希望する進路に進むことができる。ロンドンなどヨーロッパへの希望はあるが、現状では日本への留学希望は少ない。香川県留学のビデオの上映、充実した受け入れ態勢を説明した。
今後の継続した高校生への直接の説明会の実施の開催を依頼した。

6. 新北市立鶯歌高級工商職業学校(新北市)

訪問日:令和2年1月7日

面談者:校長 孔 令文、学務主任 劉 仁昌、図書館 主任 蕭 正一

概要:

在校生数1700名、90%が大学進学、就職他は10%。
姉妹校の愛媛県立松山南高等学校を2020年4月に訪問の予定があり、その他の訪問先の選定中であったため、香川県の台北直行便の利便性、アクセスの良さなどをアピールする。
関西空港経由で入る場合も香川県を経由し観光、日本人学生との交流の機会を香川県でも提供できることを紹介、香川県経由で交流の場を持つことを提案する。
日本での職業体験は短期であっても、その経験が評価につながるため留学などの機会は台湾での就職活動に役立つとの認識で教員にも香川留学への理解を得ることができた。今後継続した高校生への直接の説明会の開催を依頼した。

7. 開平餐飲学校(台北市)

訪問日:令和2年1月9日

面談者

副校長:張 家龔

国際事務組行政教師:黄 若婷

概要:

学科:中華料理、西洋料理、パティシエ等調理、1学年350人在籍者数約1200人。

卒後の進路は就職60%、40%は進学、留学で飲食関係が多い。

開平餐飲學校を卒業し香川で学んでいる留学生2名の現状を紹介。日本で充実した生活を送っていることを紹介する。現在日本語の学習は授業では実施していないが留学を希望するものはおり2月～3月進路説明会を随時実施している。

総括:

他の2エリアとは違いテーマは観光業を中心としたインターンシップであり、提携済の2つの大学にてインターンシップが香川で実現する見込み。日本同様に進学率は上昇の一途をたどるが、実学を学ぶ大学(科技系大学)が増えていることにもよる。労働者不足が深刻化しており、東南アジアの華僑の2世3世を台湾に呼び込む政策も行われている。公立の高等学校でも日本への短期研修を実施しているところもあり、地道なPRでの関係構築が必要。

香川県専各を窓口としたインターンシップも実現可能であり、2月の訪問による説明会が開催できなかったことが、残念でならないが、継続して働きかけをしたい。